

「荒れた畑を地域の担い手へ繋ぐ」

海津町吉里地区（海津市）

【地域の概要】

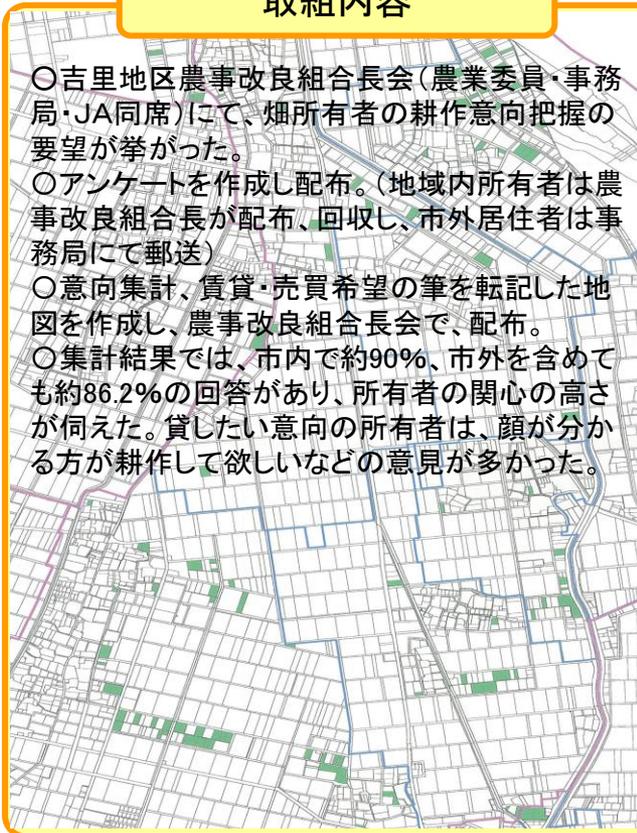
- 岐阜県最南端に位置し、西部と南部は三重県に、東部は木曾川・長良川を境に愛知県に隣接している。西部の養老山地のすそ野には扇状地が広がり、揖斐川が縦断する中央部から東部は「輪中」と呼ばれる河川によってもたらされた肥沃な土壌に培われた豊かな田園地帯が広がっている。
- 昭和55年～平成12年にかけて高須輪中土地改良地区では、国営・県営事業による再圃場整備が行われ、土地利用型作物の導入条件が整ったことから、戦略作物の小麦・大豆の生産を拡大、農業法人等による集団的栽培が行われている。また、トマト・キュウリなどの地域振興作物を主とした施設園芸、中山間地のみかん・柿を主とした果樹、酪農を主とした畜産など、地域ごとの土地条件に応じた営農が行われている。
- 各分野とも農業従事者の高齢化や後継者不足が共通した課題となっている。

取組開始前の状況や課題

- 担い手への農地の集積については、平成30年度71.5%、令和3年度73.3%と上昇し、海津地区、平田地区の田の集積は進んでいるが、畑地の集積はあまり進んでいない。
- 遊休農地面積については、平成30年度25.3ha、令和3年度10.0haと数値は減少している。
- 農業従事者の高齢化や農業の後継者不足で、管理されなくなった畑地が増えつつある。
- 地域の担い手(法人)には、所有者から畑を管理して欲しいという依頼が多くあるが、耕作機械は大型なものが多く、小区画なものについては作業ができない。また、畑を管理しても不効率な上、収益が少ないために担い手で借り受けることが難しい。
- 荒れた農地の抜根等の整備が必要である。
- 令和2・3年度に鹿野地区にて、畑所有者に意向調査し、担い手へ集積につなげる活動を推進した。

取組内容

- 吉里地区農事改良組合長会(農業委員・事務局・JA同席)にて、畑所有者の耕作意向把握の要望が挙がった。
- アンケートを作成し配布。(地域内所有者は農事改良組合長が配布、回収し、市外居住者は事務局にて郵送)
- 意向集計、賃貸・売買希望の筆を転記した地図を作成し、農事改良組合長会で、配布。
- 集計結果では、市内で約90%、市外を含めても約86.2%の回答があり、所有者の関心の高さが伺えた。貸したい意向の所有者は、顔が分かる方が耕作して欲しいなどの意見が多かった。



今後の展開と方向性

- 毎月の農地パトロールを継続的に行い、荒れた農地、今後荒れそうな農地を把握し、集積できそうな農地を情報把握する。
- 地域の担い手へ、遊休化農地の集積に向けて、積極的に働きかけを行う。
- 農事改良組合長、農業委員、担い手、JAや市など関係者間で、現状や課題などを情報共有し、今後についての意見交換を行う。

